

# 今、わたしたちができること

## 児童生徒による復興プロジェクト

# 南光台復興新聞

—発行所—

仙台市立  
南光台中学校  
広報委員会

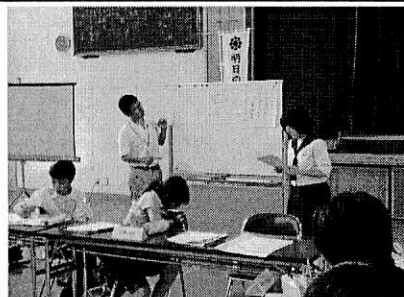
仙台市泉区南光台  
七丁目24番1号  
TEL 022(388)1261  
FAX 022(388)1262

### 見守る心

南光台中学校  
父母教師会  
副会長 石川真紀

三月の震災から四ヶ月がたちました。地域を取り巻く環境も少しずつではありますが復興の兆しが見えて参りましたが、中学校の前の道路が修繕されて大きな段差がなくなったり傾いている塀が取り壊された

7月11日月曜日(9日土曜日の授業参観の振り替え休業日)仙台市立学校の全児童生徒が、仙台市震災復興に向けての取組について話し合い「復興サミット〜今わたしたちができること」が開かれました。青葉区、若宮区、太白区、泉区の4地区に分かれ、青葉区は第一中学校、中山中学校、若宮区は宮城野中学校、中野中学校、六郷中学校、太白区は富沢中学校、山田中学校、泉区は将監中学校と長命ヶ丘中学校が会場となり、各校からの代表が集まりました。南光台中学校からは、生徒会副会長の石塚紗恵さんが代表として、将監中学校での話し合いに参加しました。児童生徒による復興プロジェクト第一弾は、5月11日に全市で行われました。今回のこの「復興サミット」がプロジェクト第二弾となりますが、サミットでは第一弾の活動や、学校独自の活動について各校からの取組発表と、第三弾で「具体的に、自分たちの手で復興に向けてできることは何か」「仙台市内の小中学生が全員で活動できることは何か」について話し合いました。



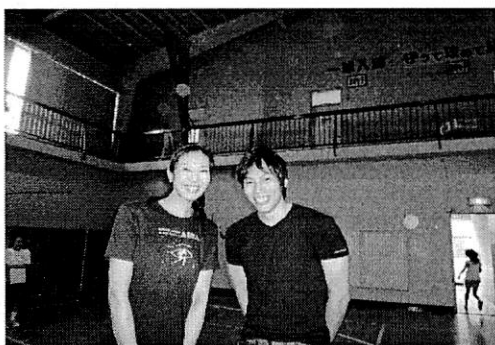
募金活動、フラワーロードの設置などの花を植える活動、あるいは千羽鶴、壁画、タイル画などの記念製作の提案が出されました。ところで、第三弾は11月11日金曜日に予定されていますが、この日は1年生のオーケストラ観賞と2年生の職場体験(最終日)と重なっているため、当日の全校一斉での活動は難しそうです。これから生徒会執行部を中心に「南中生としてできること」は何かを、具体的に詰めていくことになるでしょう。

りと、通学しやすいう状態に戻りつつあります。生活も一歩ずつ良い方向に向かっています。勉強道具や体育着を失った子は、支援団体より新調され、明るく学校へ通っており、震災は今でも心に深い傷跡を残しています。

ですが、子供の笑顔を見るたびに、毎日を生きていくエネルギーをもらっている感じがします。また、この震災を通して感じることは、遠くの親戚より近くの他人の言葉のように、大変な時期にこそお隣同士で支えあい、力を合わせて生きていくという、隣近助の精神を避難所の手伝いや震災の片付けなどを通して、親子ともども学ぶことができたと思います。

この貴重な体験を、どのような形で後世に残していけば良いかを考えるところですが、母親として自分の仕事を今よりも少しだけ頑張ること、全ての人がそれぞれの立場で少しずつ努力の上積みをする

ことによって、地域社会が向上し私達の生活も復興へと向かっていくと思えます。母親として、与えることにより、受け取る幸せの大きさを見つけていこうと考えています。千年に一度と言われる大震災に遭遇した今、千年たっても崩れぬ地域の友好の絆と未来を担う子供達の成長の基盤づくりができる最大のチャンスにとらえ、親として、前向きにそして、元気に復興に取り組み姿を見せていきたいと考えます。



バレーボール元全日本選手の大林素子さんと、現役で現在イタリアリーグで活躍している越川優選手が、7月5日火曜日、南光台中学校にいらっやいました。ソウル、バルセロナ、アトランタと3度のオリンピックに出場した大林さんは、現役引退後はスポーツキャスターとして活躍する傍ら、『移動バレーボール教室』を各地で開いています。7月4日に仙台に来られた大林さんは、東日本対震災の復興事業に、『学校を回り、体育の授業などお手伝いできないか』と、仙台市長の奥山恵美子さんと仙台市議会議員(本校PTA会長である野田譲さん)と話し合わせ、南光台中学校に来られることもその時決まったということです。イタリアリーグでの試合を終え帰国したばかりの越川さんも、大林さんもさすがにオリンピックに出場しているだけあって、背が高く(公式記録

## 大林さんのバレーボール教室

### 7月5日南光台中学校

によれば、越川さんは身長187cm、大林さんは182cm)小学生と一緒にの時の、すぐどこにいるかわかりました。大林さんは華麗なサーブ、越川さんはダイナミックなジャンピングサーブを披露してくださり、会場はおおいに盛り上がりました。スパイクを打つ時のジャンプの仕方や、強いスパイクを打つためには、トスにどのように反応すればいいのかなど、実技指導を受けたバレーボール部部長の千葉怜子さんが『震災で暗い気持ちになっていた私たちですが、今日のご指導を受けて、明るく頑張らなくてはいけないと思いました。』とお礼の言葉をつたえ、バレー部を始め、クラスごとに記念写真を撮影して、会は終了しました。大林さん・越川さん、本当にありがとうございました。